

2022 年 12 月 14 日

宗教法人三津寺

東京建物株式会社

株式会社カンデオ・ホスピタリティ・マネジメント

報道関係者各位

寺院と一体化した“大阪ミナミ”の「カンデオホテルズ大阪心斎橋」

2023 年 11 月 26 日（日）より開業

「カンデオホテルズ大阪心斎橋」の完成イメージパース奉納式を

2022 年 12 月 14 日（水）に開催

宗教法人三津寺（本拠：大阪市中央区、三津寺住職：加賀 哲郎）、東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均）、株式会社カンデオ・ホスピタリティ・マネジメント（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：穂積 輝明）は、“大阪ミナミ”の三津寺と一体化した「カンデオホテルズ大阪心斎橋」を 2023 年 11 月 26 日（日）より開業いたします。



東京建物



「カンデオホテルズ大阪心斎橋」は、地下鉄御堂筋線心斎橋駅・なんば駅の間地点であり、“大阪ミナミの観音さん”として地元に愛される七宝山 大福院 三津寺が位置する地そのものに誕生いたします。

現在の三津寺本堂は文化 5 年（1808 年）に再建され、本尊の十一面観世音菩薩が中央に、脇には薬師如来・弘法大師など数多くの古仏が安置されています。本プロジェクト実施にあたり、三津寺、および、地元“大阪ミナミ”にとっても重要な本堂は、2 度に渡る曳家工事を経て、ホテルと一体化した極めてユニークな建物として再建いたします。



「カンデオホテルズ大阪心斎橋」外観イメージ



七宝山大福院 三津寺 外観イメージ

本堂と一体化した建物内で今回開業する「カンデオホテルズ大阪心斎橋」は、カンデオホテルズの“光り輝く”というコンセプトと、三津寺の本尊 十一面観世音菩薩が放つ暖かな光を掛け合わせ、観光にきた人へのおもてなしはもちろん、地域の人々をおもてなしし、歓迎し、ともに文化を作っていく「地域共創型ホテル」を目指します。絵写経や瞑想体験を組み込んだホテルプランや、受付でお配りする 1200 年以上の歴史を持つ三津寺を中心とした地域を紹介する「カンデオホテルズ大阪心斎橋」ならではの「地域マップ」の作成に取り組み、現代を生きる全ての人々に対して日本の文化や伝統を継承していきます。

今後は、既存の「カンデオホテルズ大阪岸辺」「カンデオホテルズ大阪なんば」「ザ シングularity ホテル & スカイスパ アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」とも共創し、多様な面を併せ持つ大阪の各エリアの良さを引き出せるホテルとして進化し続けてまいります。

また「カンデオホテルズ大阪心斎橋」開業に伴い、2022年12月14日（水）にホテルの完成予想図を三津寺の本尊に奉納し、ホテルが無事に完成することを祈願する奉納式を三津寺仮事務所 松林庵で開催いたしました。



左から、東京建物 執行役員ホテル事業部長 高橋浩、三津寺住職 加賀哲郎、株式会社カンデオ・ホスピタリティ・マネジメント 代表取締役会長兼社長 穂積輝明、大成建設 設計本部副本部長 平井浩之

七宝山大福院 三津寺住職 加賀哲郎氏からのコメント

■七宝山大福院 三津寺とは

三津寺は西暦 744 年に聖武天皇の命により行基菩薩が応神天皇の菩提を弔うために十一面観音菩薩像を彫って祀ったことを開創とする真言宗寺院です。本尊は、十一面観世音菩薩で、その他にも薬師如来や弘法大師、愛染明王など、平安から江戸時代の仏像を数多くお祀りしています。現在の本堂は西暦 1808 年の建立となっており、大阪市内では珍しい第二次世界大戦の戦果を免れた江戸期の木造建築です。そのため、堂内の天井に描かれた 100 を超える色とりどりの花卉(かき)図や、漆や金箔・色絵で彩られた柱や彫刻など、豪華絢爛な江戸美術の荘厳が残っており、その歴史を現在の大阪に引き継いでいます。



七宝山大福院 三津寺 本堂

■三津寺住職 加賀哲郎氏からのコメント

この度の「三津寺ホテルプロジェクト」は、1933 年(昭和 8 年)に建てられた鉄筋コンクリート製庫裏の老朽化による建て替えと、江戸時代の文化を残す本堂を次の 100 年に繋ぐことを目的にスタートしました。また、偶然にも御堂筋歩道の拡幅も行われることになったため、これまで三津寺筋にあった入口を御堂筋に変更し、今まで以上に難波・心斎橋を訪れた方々に開かれたお寺になればと考えております。本プロジェクトによりお寺とホテルはある意味一体となり、その最も象徴的な場が境内です。地域とお寺、ホテルを繋ぐ境内に足を踏み入れた方々が、少しでも仏教文化や美術・歴史を体感し、信仰心を持つことで、心豊かに生きられますよう、三津寺としても様々な取り組みをおこなっていきたいと思います。



三津寺住職 加賀哲郎氏

曳家工事について

2度に渡る三津寺本堂の曳家工事により「カンデオホテルズ大阪心斎橋」は建設可能になりました。

■第1回曳家工事（2020年9月）



■第2回曳家工事（2021年7月）



「カンデオホテルズ大阪心斎橋」について

「カンデオホテルズ大阪心斎橋」（所在地：大阪府大阪市中央区）は、大阪・心斎橋御堂筋沿いに2023年11月26日（日）に開業いたします。ホテルの標準客室面積は約24㎡。クラフトマンシップを感じる洗練された空間の客室を、浴室とトイレセパレートタイプのキング、ツイン、トリプルルームの3種類のバリエーションでご用意しています。

「カンデオホテルズ大阪心斎橋」は、なんば駅、心斎橋駅共に5分圏内とアクセスが良く、目的に合わせて選択できるバラエティ豊かな客室をご用意することで、ビジネス、レジャーなど様々なシーンでのご利用が可能となっております。

また最上階には約55mからの眺望の露天風呂、内湯、水風呂、サウナを完備しております。最上階のスカイスパ・サウナには、最新スペックのSAWO（サヴォー）社オートロウリュサウナを導入いたしました。近年のサウナブームの高まりと多様化するお客様のニーズにお応えするため、男女とも最新スペックのものを導入することを決定しました。そして、外気浴を楽しむための「ととのい椅子」を設置した地上55mの「外気浴スペース」では、見上げると空が臨め、心地よい風が火照った身体を優しくクールダウンします。



ホテルエントランスイメージ

また、館内は、エントランス、ロビー、廊下、エレベーター内、随所に日本の匠の技術を生かしたデザインコンセプトで空間をトータルプロデュースしており、世界で唯一の“4 つ星ホテル”としての上質さを体感することができます。ホテル内ショップ「カンデオデリカ」では厳選ワインやクラフトビール、こだわりジュース、燻製おつまみ等、上質かつリーズナブルなものを揃えているため、シーンにあわせて気軽にご利用することができ、様々な楽しみが広がります。



「カンデオホテルズ大阪心斎橋」スカイSPA 内湯 イメージ



「カンデオホテルズ大阪心斎橋」スカイSPA 露天風呂 イメージ

「カンデオホテルズ大阪心斎橋」今後の取り組み

「カンデオホテルズ大阪心斎橋」は“地域共創型ホテル”を目指すため、地元の方々や地元商店体験などここでしかできない体験を通じ、観光にきた人はもちろん、地域の人々をおもてなしいたします。

例えば、日本文化として根付く「写経」と仏さまの姿を写す「写仏」を融合させた『絵写経』体験ができるプランや、精進料理をモチーフにした朝食が食べられるプランなど、観光を通して身近にお寺を感じていただき心身ともに安らげる空間をご提供してまいります。



絵写経体験 イメージ

■カンデオホテルズチェーンについて

カンデオホテルズのコンセプトは、世界で唯一の“4 つ星ホテル”です。それは単に高級な 5 つ星ホテルと手軽な 3 つ星ホテルの中間に位置することを意味しません。

上質さと使いやすさを両立しながら、その両方を兼ね備えることで、今までのホテルではかなえられなかった感動を創造すること。私たちは、“4 つ星ホテル”というコンセプトに、唯一無二の体験価値をお届けする誇りと想いを込めています。また、ラテン語の「光り輝く」に由来する名を持つ CANDEO HOTELS は、滞在されるお客様がより光り輝くために存在します。

「カンデオホテルズ大阪心斎橋」施設概要

■開発計画概要

- 【計画名称】三津寺ホテルプロジェクト新築工事（仮）
- 【所在地】大阪府中央区心斎橋筋 2 丁目 7 番 12 号
- 【建築主】東京建物株式会社
- 【設計者】大成建設株式会社関西支店一級建築士事務所
- 【施工者】大成建設株式会社関西支店
- 【用途】ホテル・寺院・店舗
- 【着工】2021 年 1 月
- 【竣工】2023 年 9 月（予定）



■ホテル概要

- 【名称】カンデオホテルズ大阪心斎橋
【4階】フロント、ロビー、レストラン
【5階～14階】客室
【15階】スカイSPA（露天風呂、内湯、サウナ）、
【住所】542-0085 大阪府大阪市中央区心斎橋筋2丁目7番12号
【アクセス】御堂筋線 なんば駅、心斎橋駅より徒歩5分

■各社概要

■宗教法人三津寺

- 【住所】大阪市中央区心斎橋筋2丁目7番12号
【代表】三津寺住職 加賀 哲郎（かが てつろう）
【開創】744年
【URL】<https://mitsutera.jp/>

当山は西暦744年に聖武天皇の命により行基菩薩が応神天皇の菩提を弔うために十一面観音菩薩像を彫って祀ったことを開創とする真言宗寺院です。本尊 十一面観世音菩薩をはじめ薬師如来や弘法大師など、平安期以降の仏像を数多くお祀りしています。日本有数の繁華街の中では異色の存在感を放つ三津寺ですが、地域の人々からは「ミナミの観音さん」「みってらさん」の愛称で親しまれております。

■東京建物株式会社

- 【住所】東京都中央区八重洲1丁目4番16号
【代表】代表取締役 社長執行役員 野村 均（のむら ひとし）
【設立】1896年 【従業員数】725名
【URL】<https://www.tatemono.com/>
【資本金】924億円
【主な事業内容】オフィスビル・商業施設等の開発、賃貸及び管理

当社は、2030年頃をターゲットにした長期ビジョン「次世代デベロッパーへ」に基づき、「社会課題の解決」と「企業としての成長」のより高い次元での両立を目標に掲げております。その実現のため、重点戦略としてホテルや賃貸マンション、物流施設等、幅広いアセットタイプへの積極投資による継続的な開発機会の獲得、機動的な売却による利益創出に取り組んでおります。

ホテル事業においては、当社のデベロッパーとしてのノウハウの活用や、多様なオペレーターとの協業により、エコノミーホテルからラグジュアリーホテルまで様々なタイプのホテル開発・運用を行っております。今後も立地・案件特性に応じてオペレーターやホテルタイプをベストミックスし、事業価値の最大化を目指してまいります。

■株式会社 カンデオ・ホスピタリティ・マネジメント

- 【住所】東京都港区新橋4丁目5番1号 アーバン新橋ビル7階
【代表】代表取締役会長兼社長 穂積 輝明（ほづみ てるあき）
【設立】2005年
【従業員数】361名
【URL】<https://www.candehotels.com/>
【資本金】1億円
【事業内容】ホテル運営

■現在全国 25 施設展開

最新では、2022年8月26日に宇都宮が開業

■顧客満足度ランキングで第1位獲得

日経ビジネス誌が実施した顧客満足度ランキングで第1位を獲得。2012年・2017年連覇を達成

■「マネジメント・オブ・ザ・イヤー 2015」

『ダイヤモンド経営者倶楽部』が発表した年間最優秀賞の「マネジメント・オブ・ザ・イヤー 2015」を受賞

<当ホテルの詳細に関する問い合わせ先>

株式会社 カンデオ・ホスピタリティ・マネジメント 【担当：岡】
TEL：03-6435-6577 FAX：03-3436-6511 MAIL：press@candehotels.com

<報道関係者問い合わせ先>

カンデオホテルズ PR 事務局（アンティル内）
担当：山本、岸浪、植村、駒場、境
TEL：03-6821-7863 MAIL：candehotels-pr@vectorinc.co.jp